



株式会社 モードサロン キクヤ 1891 (明治24)年創業

どこにでも自信を持って着ていける、自分を最も輝かせてくれる一着が見つかる店、それがモードサロンキクヤ。他にはないラグジュアリーで洗練された品揃え、フィッティングからリメイクまで確かな洋裁技術を備えたスタッフ、日常を忘れさせる優雅な雰囲気店内。すべてに同店ならうでのこだわりが溢れています。

## 全社員が受け継ぐキクヤ・スピリッツ

宇都宮城址と二荒山神社を結ぶ「みはし通り」は、平成17年の街路整備により歩道には柔らかな色調の石畳が敷かれ、通りの様子はガラリと変わりましたが、今もこの通りには明治年間創業の旅館や飲食店、个性的な専門店が軒を並べ、行き交

う人を楽しませています。

その通りの真ん中あたりにモードサロンキクヤのビルが建っています。天蓋付きのエントランスと、アーチ型の窓が印象的な白亜の店舗。そのモダンな外観からはなかなか想像できませんが、同店の創業は明治24年1月。「初代はこの

ヤの礎を築きました。昭和24年に株式会社を設立して、店舗を建て替えたのも父です。『小滝文字服装学院』を開校すると同時に、インポートブランドの既製服が『舶来品』と呼ばれていた頃から海外の一流ファッションブランドのアイテムを取り扱うなど、経営者として常に店のこと、地域のことを考えていました。また、亡くなった夫・小滝寿光とともに、オーダー服とプレタ

ポルテの両輪で経営基盤を固めました」と、庸子さんが見せてくれたのは、清さんが亡くなる1年前にまとめたスクラップブック。数々の写真や懐かしいチラシの側には、ヨーロッパを巡って研究を重ねた末に建築した店舗への思いや、ファッションへのこだわり、お客さまへの感謝の心など、キクヤ・スピリッツとも言うべ

き言葉が丁寧に書き込まれています。そしてスタッフのための教則本には「I Love Utsunomiya!!」うつのみやに生まれ育ったキクヤは、豊かな暮らしのため、豊かな地域社会の実現のために全力をつくしてまいります。思いのすべては庸子さんをはじめスタッフ全員に受け継がれ、二世代、三世代にわたって同店に通う女性たちを魅了し続けています。

今、庸子さんは、二人のお嬢さんと共に新たなファッション提案にも取り組んでいます。「父と夫が築いたキクヤをベースに、徐々に時代に即した提案をプラスしていきます。若く、若い年齢層向きの新コーナー「maniera」を展開し、カジュアルなジュエリーフエアなども開催。時代を切り開く武器となるのは、地域を愛する気持ち。父親譲りの確かな目と、豊かな感性がキクヤの未来を照らしています。



代表取締役の小滝庸子さん

創業は120年以上も前なんです」と、代表取締役の小滝庸子さんも、その歴史には驚くばかり。足袋を商っていたキクヤは時を経て洋服を仕立てる洋装店となり、終戦後すぐに大きなターニングポイントを迎えました。庸子さんの父、後に三代目となる小滝清氏の入店です。

「父は、宇都宮工業高校の美術教師でしたが、結婚を機に入店し、母と共に現在のキク



看板や紙袋に使われている故・小滝清氏がデザインしたロゴマーク



### モードサロン キクヤ

宇都宮市中央本町1-16  
☎028-633-2403

【営業時間】

午前11時～正午  
午後1時～5時

【定休日】日曜・祝日

<http://manierakikuya.web.fc2.com>



1969年制作のモダンなチラシ。1960年代のデザイン画も故・小滝清氏の手によるもの